

平素より大変お世話になっております。住友商事 海外工業団地部の井口です。

日本も漸く過ごしやすい気候になってきましたね。今月は10月に入りクリスマスイベントの準備に熱が入りつつあるフィリピンの活気、温暖で過ごしやすい生活環境等について現地の生の声をお届けいたします。また、特別コラムでは同国の経済状況、今後の成長・見通しについても情報発信させていただきます。是非、ご覧ください！

## 【今月のコラム】

ファーストフィリピン工業団地（FPIP）の大井です。

家族を帯同しております、小1の娘（7歳）と年少の息子（3歳）も当地で元気にやっています。日本人学校は小・中合わせて400名まで回復、娘はランドセル背負って通学しています。

滞在1年で感じたことは、いかに当地は家族連れ、子供にやさしい国であるか、ということです。どこに行っても子供大好きフィリピン人、ホスピタリティーが本当にありがたいです。社員旅行に家族も連れて行ったのですが（歌やゲームで盛り上がりました）息子はいろいろなお姉さんにベイベーと呼ばれ抱っこされて、調子に乗っていました。どこのレストラン、お店に行っても嫌がられることはないですし怖いもの知らずです。怖いのは、週末家族で20分くらい歩いて外食した帰りのスコールくらいです。

治安は気にならないですね。



海沿いのショートコース、社員旅行の際に。



小学校入学式、日本と変わらない。

あとは最近の街の変化と言えば、はい、やってまいりました。今年もすでにOctoberであり、「~ber month」ですので当地は既にクリスマスモード突入です。ショッピングモールはライトアップ

済み、クリスマスツリーが大量に売られています。そしてなぜか野菜等の食品や消費財系はクリスマスに向けて値上がり（みんな買い溜めするそうです、何のため？）、同時になぜかクリスマス前セールもやっています。盛り上がってきています。

12月は丁度雨期があけて涼しくなるベストシーズンの始まりでして（雨期でも晴天の日もあり、自身が以前駐在していた某国とは大分違う）、そういう意味でも気持ちが明るくなっていくのかなと思いました。

先日受け入れさせていただきました会社様はアジア各国を進出候補先としてご検討中ですが、生活を考えると（自分が住むとしたら）フィリピンが良いと仰っておられました。私も同意します。海に偏り気味ですが国内観光地もたくさんあるのでこれからの時期、どこに行こうかなと考えるのが楽しみであります。



王道ボラカイ島へ旅行、次もビーチか。

## 【特別コラム】

### インフラ整備と米国との関係強化を進めるマルコス政権

マルコス新政権が2022年6月に発足してから1年3か月になります。マルコス大統領はドゥテルテ前政権の主要政策であったインフラ整備や税制改革、独立した外交政策を継続するとともに、農業の強化、原発の導入の検討なども追求していますが、このうち、インフラ整備と外交については着実な進展がみられます。

インフラ整備については、マルコス大統領は「ビルド・ベター・モア」という政策を掲げてドゥテルテ前政権下で進めてきた取組みをさらに拡充し、2022年度のインフラ関連支出は1兆2,785億ペソ（前年度比+13.8%、GDP比5.8%）に上りました。任期終了までの6年間で優先的に取り組むインフラ事業（総額9兆ペソ）を承認し、政府系ファンド「マハルリカ・インベストメント・ファンド（MIF）」を設立して大型インフラ整備の財源にするとしています。

外交については、主に米国との関係で成果がみられました。マルコス大統領は就任から3か月後の2022年9月に国連総会出席のためにNYを訪問し、バイデン大統領と初の首脳会談を行いました。両国は南シナ海や台湾海峡における中国への対抗を念頭に連携を深め、2023年2月には米軍がフィリピン国内で使用できる基地を4か所増やし、9か所とすることで合意し、4月には7年ぶりに外務・防衛閣僚級協議（2+2）を実施しました。続いてマルコス大統領は5月に訪米し、ホワイトハウスでバイデン大統領と2度目の会談を行いました。フィリピンの大統領がホワイトハウスを訪れるのは11年ぶりです。両国は防衛協力に加え、気候変動対策やフィリピンでの原発の導入に向けて協力することで一致しました。日本と豪州との協力も進め、6月には日米豪比4か国の国防相会談が初めて実現しました。

2022年の実質GDP成長率は前年比+7.6%と46年ぶりの高水準になりました。企業活動の再開、観光業の回復などにより消費と投資が拡大しました。2023年第1四半期も前年同期比+6.4%と堅調な成長が続きましたが、第2四半期は同+4.3%に鈍化しました。インフレ（同四半期のCPI上昇率は+6%）と利上げ（22年5月から累計4.25%）が内需の下押し要因になり、新型コロナウイルスの終息に伴うリベンジ消費が一巡しつつあることも消費の鈍化につながったようです。こうした状況を反映してか、パブリカス・アジアの世論調査によれば、マルコス大統領の9月の支持率は55%と6月の前回調査から7ポイントも低下しました。とはいえ、歴代大統領の支持率と比べればなお高い水準といえます。

今後の経済の見通しについては、インフレは鈍化傾向にありますが、足元では食品と運輸の価格上昇により再び上昇しており（8月のCPI上昇率は前年同月比+5.3%）、政策金利（現在+6.25%）も当面高い水準が維持される見通しです。一方、外国人観光客の増加により観光業の回復が続き、内需を中心とした底堅い成長は続くことが予想されます。ADBは9月20日に発表した経済見通しで2023年の成長率を前年比+5.7%に下方修正しましたが、東南アジア諸国の中では比較的高い水準を保っています。2024年の見通しは+6.2%としており、堅調な回復に向かうことが示されています。

住友商事グローバルリサーチ シニアアナリスト 石井順也

[https://www.scgr.co.jp/analyst/junya\\_ishii/](https://www.scgr.co.jp/analyst/junya_ishii/)

## 【各国工業団地の販売状況】



## フィリピン

- ファーストフィリピン工業団地 (FPIP)
- ファーストインダストリアルタウンシップ (FIT)

- ・貸工場 約 1,000~30,000 m<sup>2</sup>紹介中
- ・土地 紹介中



## バングラデシュ

- バングラデシュ経済特区 (BSEZ)

- ・2022年12月に開所
- ・第1期区画につき販売中 (3社ご契約済)
- ・第2A期 (第2期先行開発区画) 近く販売開始予定

\* BSEZ HP が開設されました！

リンク⇒<https://bsezltd.com/ja/>

工業団地の設備面のご紹介に加え、空き区画のご紹介や、現場写真、ニューストピックスについても随時更新を行ってまいります。是非ご覧ください。

## インド

- オリジンズ・チェンナイ工業団地

- ・第一期区画につき紹介中
- ・現在、12社の企業様が入居





## ベトナム

### ○タンロン工業団地 (TLIP)

- ・土地・貸工場は満床
- ・貸事務所 紹介中

### ○第二タンロン工業団地 (TLIP II)

- ・第一期、第二期の土地・貸工場は満床
- ・第三期区画の拡張開発中、2024 年操業開始予定
- ・貸事務所 紹介中

### ○第三タンロン工業団地 (TLIP III)

- ・土地 満床間近
- ・貸工場・貸事務所 紹介中

\* 最新の販売状況については都度ご案内させて頂ければ幸いです。是非お問合せください。

## インドネシア

### ○イーストジャカルタ工業団地 (EJIP)

- ・貸工場 1,590~3,000 m<sup>2</sup>紹介中



## ミャンマー

### ○ティラワ経済特別区 (Thilawa SEZ)

- ・土地 紹介中。
- ・貸工場 延床 880~6,000 m<sup>2</sup>紹介中

貸工場紹介動画：

<https://youtu.be/dyqCdg330n8>

\* クリック頂くと HP 掲載資料/紹介ページにアクセスできます。

ご関心あられる工業団地情報をご覧頂ければと存じます。

[第二タンロン工業団地](#)

[第三タンロン工業団地](#)

[オリジンズ・チェンナイ工業団地](#)

[ティラワ経済特別区](#)

[イーストジャカルタ工業団地](#)

[ファーストフィリピン工業団地](#)

[バングラデシュ経済特区](#)

その他詳細な情報や区画照会等のご要望がございましたら弊社までお気軽にご連絡ください。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

住友商事株式会社  
海外工業団地部 井口

CONTACT INFO.

住友商事 海外工業団地部

E-mail : [scip-info@sumitomocorp.com](mailto:scip-info@sumitomocorp.com)



【注記】

1. 本メールは住友商事株式会社 海外工業団地部の職員と名刺交換をさせて頂きましたお客様宛に配信させて頂いております。本メールにお心当たりがない場合、或いは、今後弊社からのお知らせの配信を停止する場合は、<https://forms.office.com/r/Z2nbCcfR9M> からお手続きをお願い致します。

配信停止までの間に他のお知らせが配信されることがございますが、予めご了承願います。

(上記へアクセス出来ない方のみ [lisa.iguchi@sumitomocorp.com](mailto:lisa.iguchi@sumitomocorp.com) 宛に空メールをお送りください。)

2. 本メールは、あくまで情報提供を目的に作成されたものです。本レポートは弊社工業団地事業会社の最新、及び公開情報に基づいて作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、本メール内のトピックスは執筆者の独自の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統

一された見解では御座いません。（転送の禁止）

皆様のお役に立てる情報、コンテンツを充実させることが出来る様、執筆者一同精進致します由、引き続き何卒宜しくお願い申し上げます。

Copyright (C) 2023 Sumitomo Corporation. All Rights Reserved.